

令和7年度(2025年度)
第1回 熊本県渋滞解消推進本部会議
次 第

日時:令和7年7月14日(月)
16:30~17:20
場所:知事応接室

1 開会

2 本部長(木村知事) 挨拶

3 議題

○これまでの振り返り

資料

○現在の進捗報告及び今後の取組み

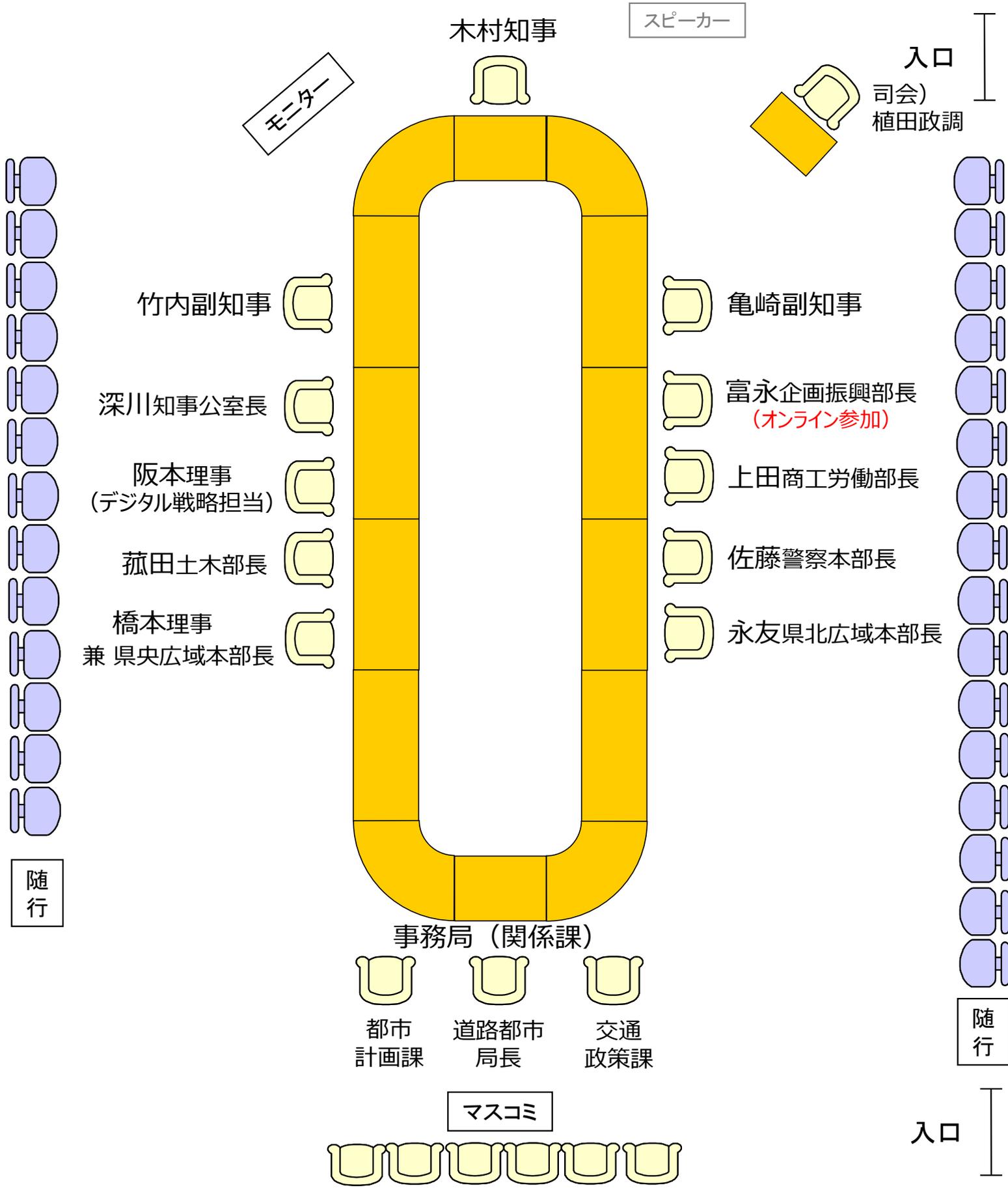
//

4 意見交換

5 閉会

令和7年度（2025年度） 第1回「熊本県渋滞解消」推進本部会議 配席図

日時：令和7年7月14日(月)
16:30～17:20
場所：県庁本館5階 知事応接室



令和7年度(2025年度)

第1回 熊本県渋滞解消推進本部会議

令和7年(2025年)7月14日

熊本県渋滞解消推進本部会議(R7第1回)

【目次】

(1) これまでの振り返り

- ・令和6年度熊本県渋滞解消推進本部会議 p.2
- ・熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組み p.3～4

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

- ・セミコン周辺エリア p.6～27
- ・都市圏東部エリア p.28～29
- ・熊本都市圏全エリア p.30～37

(1) これまでの振り返り

➤ 令和6年度 熊本県渋滞解消推進本部会議

熊本県渋滞解消推進本部会議(第1回) - 令和6年6月 5日 -

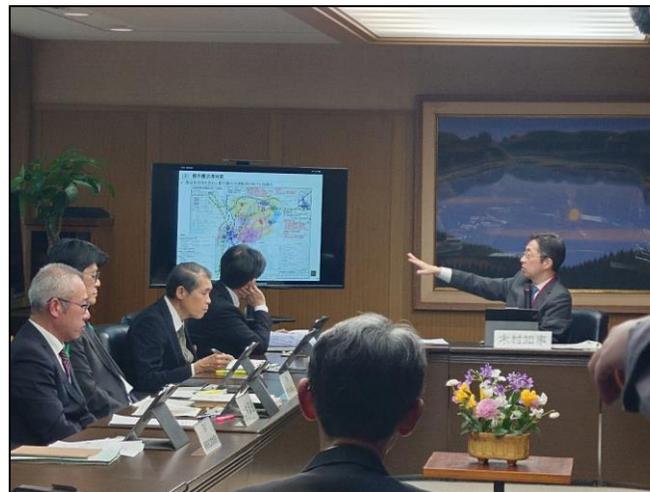
熊本県渋滞解消推進本部会議(第2回) - 令和7年3月14日 -

- ・渋滞解消に向けた取組みを組織横断的に迅速かつ強力に進めていく。
- ・都市圏の各市町や民間企業などとの連携の重要性が明らかになった。都市圏の各市町とのトップ会談を実施していく。
- ・渋滞解消に向けた取組みを加速していくために、短期・中期・長期のソフト、ハード対策を効率的かつ段階的に進めていく。
- ・熊本都市圏における渋滞対策の着実な実施を確認するとともに、各施策の連携や前倒し、新たな対策などの実施方針を明らかにし、わかりやすく情報発信していく。

[R6第1回会議]



[R6第2回会議]



(1) これまでの振り返り

➤ 熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組み (R6.12.26.第2回熊本県・熊本市調整会議資料より)

県市で取り組む**道路施策**

～車の『**流れ**』を良くする取組み～

加速化対策(短期): ~3年

交差点改良や信号制御の最適化 30箇所

市内)主要渋滞箇所 **8か所**及びその周辺**3か所** < 8/174(約 5%) >
市外)主要渋滞箇所 **16か所**及びその周辺**3か所** < 16/ 52(約30%) >

■交差点改良や信号制御の最適化等の実施

<都市圏東部エリア> **14箇所**: 熊本益城大津線 など
<セミコン周辺エリア> **16箇所**: 大津植木線 など

■バスペイの整備による交通の円滑化

・熊本菊陽線など(10箇所)

■道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、熊本西環状道路(池上工区)、
熊本高森線((都)益城中央線)、大津植木線(辻久保工区)など

抜本対策(中期): 4~10年

主要渋滞箇所**226箇所**のうち**約80箇所**の改善に向け
取組みを強力に推進

■道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、中九州横断道路、
国道3号植木バイパス、熊本西環状道路(砂原工区)など

■交差点改良や信号制御の最適化等の実施

・熊本空港線 他

■車から自転車などへの転換

・自転車・歩行者空間の整備

抜本対策(長期): 11年~

広域道路ネットワークの構築

・熊本都市圏3連絡道路
・中九州横断道路、国道3号植木バイパスなど

県市で取り組む**公共交通施策**

～車から公共交通への『**転換**』を促す取組み～

加速化対策(短期): ~3年

年間利用者数

路線バス)・現状(2023年) 2,449万人/年→目標(2027年) 3,000万人/年
市電)・現状(2023年) 1,009万人/年→目標(2027年) 1,170万人/年

■公共交通の利便性向上及び利用促進

・利用促進キャンペーン、運転士不足対策 など

■公共交通の輸送力強化と基盤整備

・豊肥本線の増便・増結や駅施設の改良整備 など

抜本対策(中期): 4~10年

公共交通分担率を**2倍**にする

■公共交通の輸送力強化と基盤整備

・「交通連合」の実現、空港アクセス鉄道整備など

抜本対策(長期)

持続可能な公共交通の維持

県市で取り組む**その他施策**

～ピーク時の交通を『**分散**』する取組み～

加速化対策(短期): ~3年

・1年以内に**1万人規模**の取組み ・時差出勤等に取り組む**企業200社**

■集中する“時間”の分散

・官公庁や民間企業の時差出勤・在宅勤務を推進
※実施企業の宣言や認定制度等

■集中する“場所”の分散

・既存道路ネットワークの利活用



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

◆セミコン周辺エリア

- ・交差点改良や信号制御の最適化等の実施 p.6～11
- ・バスベイの整備による交通の円滑化 p.12～13
- ・道路ネットワーク整備の着実な推進 p.14～22
- ・公共交通の利便性向上及び利用促進 p.23～24
- ・集中する“時間”“場所”の分散 p.25
- ・公共交通の輸送力強化と基盤整備 p.26～27

◆都市圏東部エリア

- ・交差点改良や信号制御の最適化等の実施 p.28
- ・道路ネットワーク整備の着実な推進 p.29

◆熊本都市圏全エリア

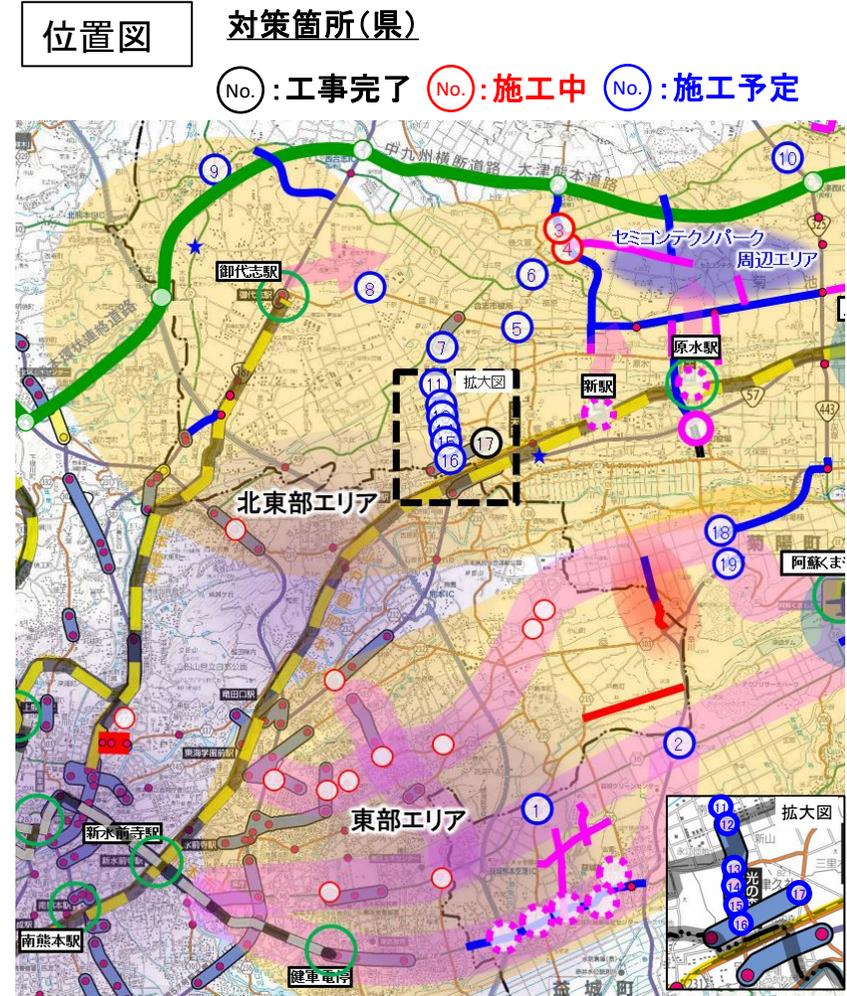
- ・広域道路ネットワークの構築 p.30
- ・公共交通の利便性向上及び利用促進 p.31
- ・公共交通の輸送力強化と基盤整備 p.32
- ・集中する“時間”の分散 p.33～37

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺・都市圏東部エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~【19箇所】

- 昨年度までに4箇所の対策を決定し、残る15箇所についても対策内容を決定。
- このうち、⑰交差点の対策が今年4月に完了し、③、④交差点も年内に対策完了予定。

| No | 市町 | 路線名 | 取組箇所 | 対策内容 | 取組状況 | 備考 |
|----|-----|--------------------|--------------|----------------------|------|--------|
| ① | 益城町 | 熊本益城大津線 (第二空港線) | 安永交差点 | 右折レーンの増設 | 設計中 | R7発注予定 |
| ② | 益城町 | 熊本益城大津線 (第二空港線) | 平田交差点 | 右折レーンの増設 | 設計中 | R8発注予定 |
| ③ | 合志市 | 熊本大津線 | 仮)竹迫北交差点 | 右折レーン延伸 | 工事中 | R7完了予定 |
| ④ | 合志市 | 熊本大津線 | 仮)竹迫交差点 | 右折レーン延伸 | 工事中 | R7完了予定 |
| ⑤ | 合志市 | 辛川鹿本線 | 福原交差点 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑥ | 合志市 | 大津植木線 | 福原北交差点 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑦ | 合志市 | 熊本大津線 | 合志工業団地入口交差点 | 左折レーンの新設 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑧ | 合志市 | 大津西合志線 | 豊岡交差点 | 交差点マーク新設 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑨ | 合志市 | 大津植木線 | 野々島交差点 | 交差点コンパクト化 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑩ | 大津町 | 国道325号 | 護川小学校入口交差点 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑪ | 合志市 | 住吉熊本線 | 仮)合志北口交差点 | 右折レーン設置 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑫ | 合志市 | 住吉熊本線 | 幾久富南交差点 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑬ | 菊陽町 | 住吉熊本線 | 新山2丁目 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑭ | 菊陽町 | 住吉熊本線 | 仮)菊陽町光の森7丁目北 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑮ | 菊陽町 | 住吉熊本線 | 仮)菊陽町光の森7丁目東 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑯ | 菊陽町 | 住吉熊本線 | 仮)菊陽町光の森7丁目南 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑰ | 菊陽町 | 辛川鹿本線 | 仮)菊陽町光の森7丁目 | 右折レーン延伸 | 完了 | — |
| ⑱ | 菊陽町 | 国道443号 | 菊陽町曲手 | 右折レーンの追加 右折レーン延伸 | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑲ | 菊陽町 | 国道443号 | 空港入口 | 右折レーン延伸 | 設計中 | R8発注予定 |



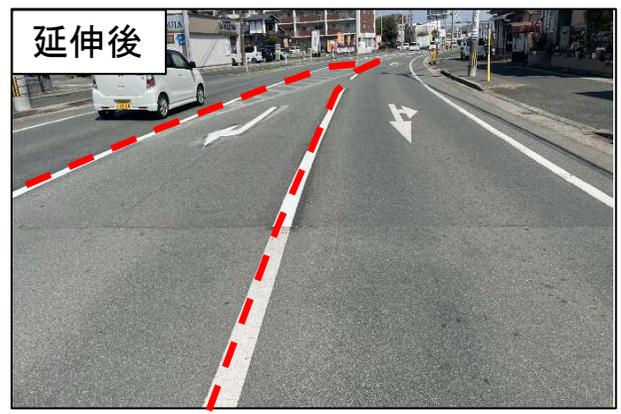
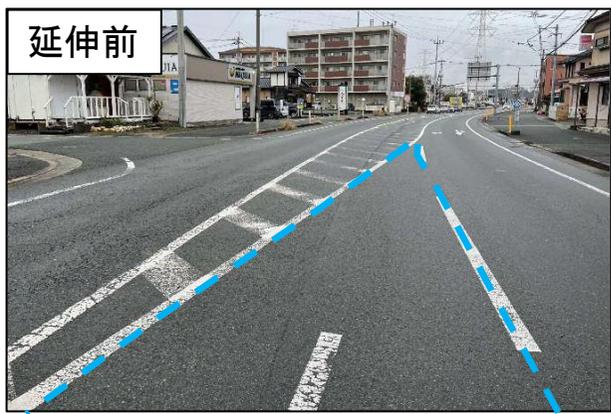
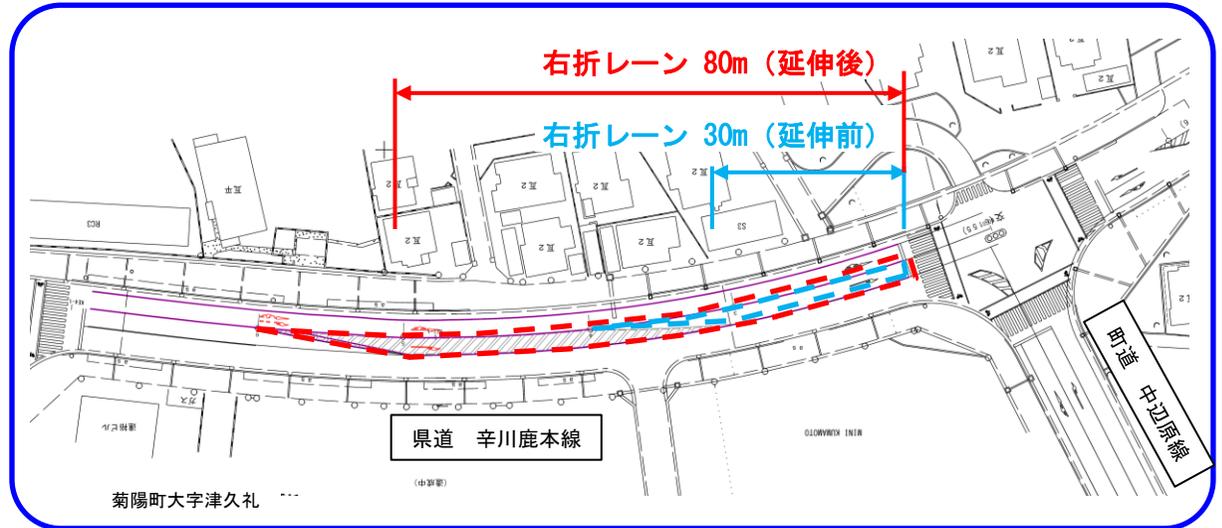
※ハード対策と併せて、県警と連携し信号現示の見直しについても実施する。

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

◆交差点改良⑰ 辛川鹿本線「仮)菊陽町光の森7丁目交差点」

【事業内容】右折レーンの延伸工事を今年4月に完了。



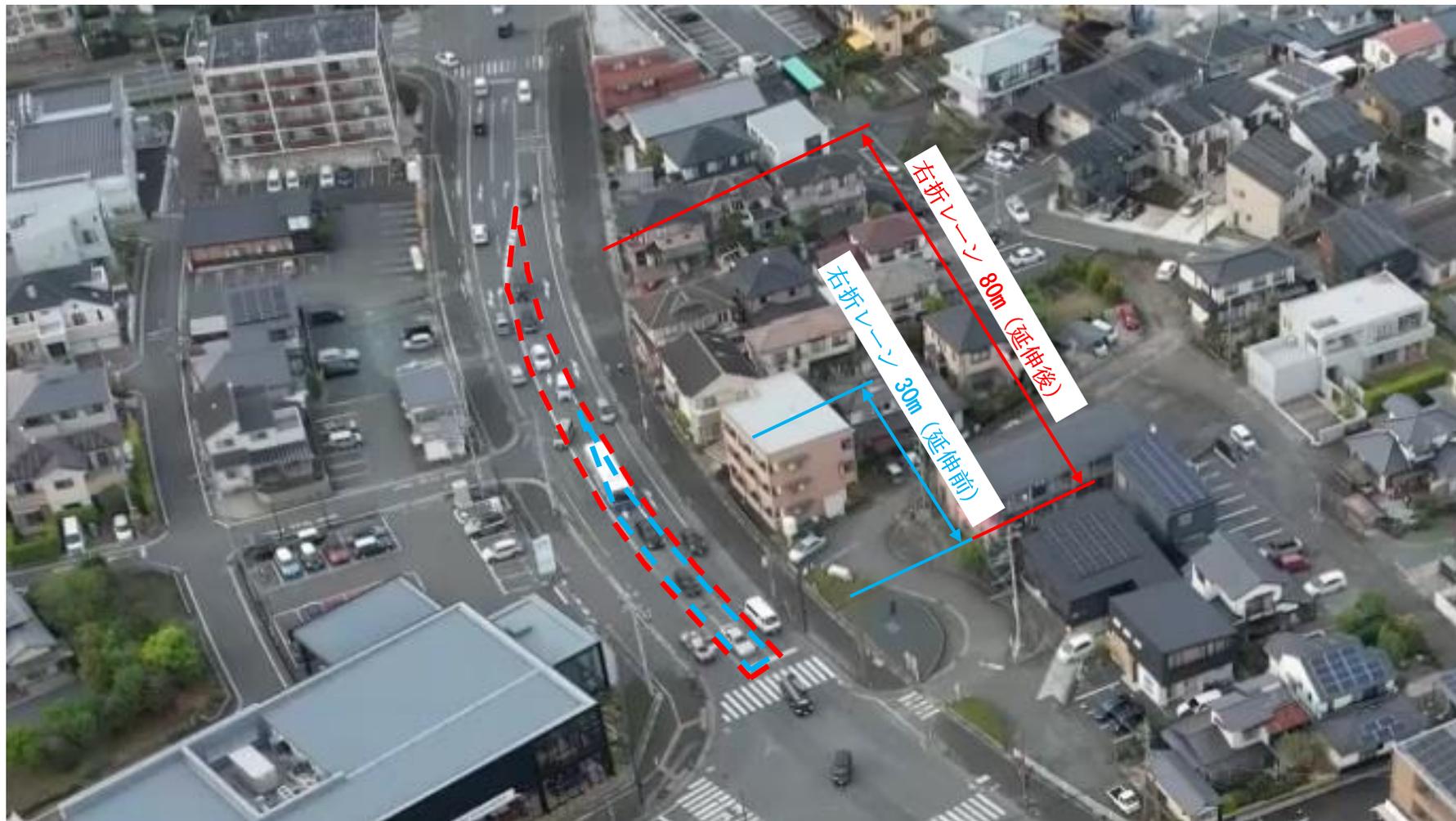
既設のゼブラ帯を活用し、右折レーンを延伸した。

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

◆交差点改良⑰ 辛川鹿本線「仮)菊陽町光の森7丁目交差点」

【整備効果】・右折レーンを延伸(30m→80m)し、滞留できる台数が増加した。(最大5台程度→最大13台程度)
・右折待ち車両が延伸した右折レーン内に収まっており、直進車を阻害していない。



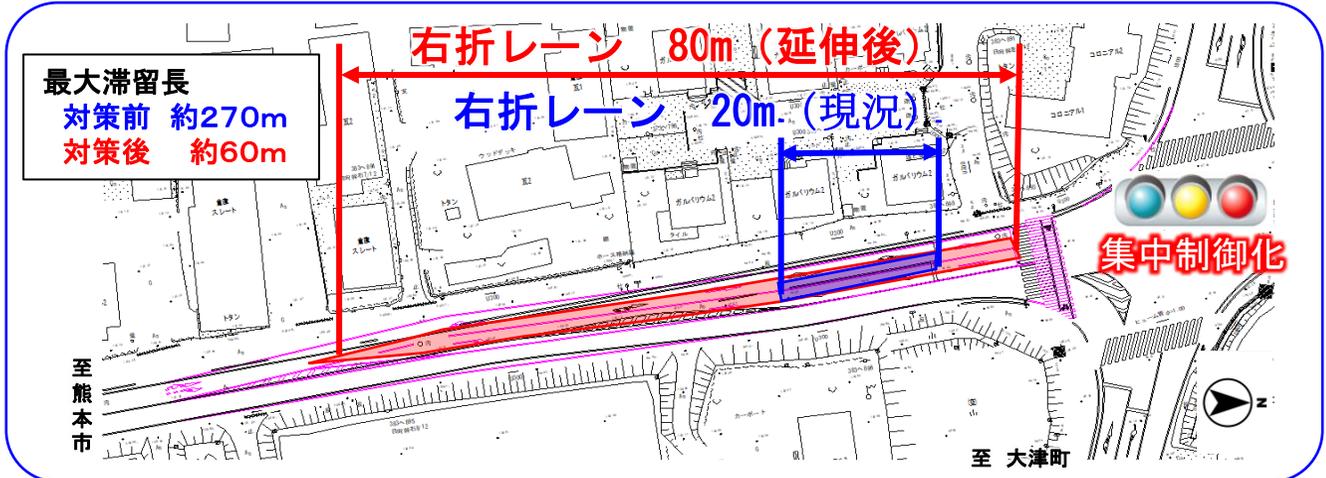
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

◆交差点改良③ 熊本大津線「仮」竹迫北交差点

【事業内容】・右折レーンの延伸工事に今年5月に着手し、年内完了予定。
・信号機の集中制御化も実施しており、これらの効果を組み合わせ、円滑な交差点処理を図る。
【整備効果】・最大滞留長が約210m減少(270m→60m)すると予測。

位置図



対策前



進捗状況



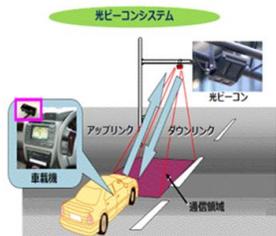
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施 ~
《取組状況》

■信号制御の最適化等

- 光ビーコンや車両感知器を設置して、リアルタイムな交通データを収集・分析し、最適な信号制御(信号機の集中制御)を行う。
- 交通渋滞、旅行時間等の交通データを交通情報板やカーナビゲーション等を通じて、情報提供することで、交通流の分散を促す。

【交通管制システム構成図】



・車両に搭載された車載装置(カーナビ等)との間で
双方向通信
⇒旅行時間や走行経路データを収集
渋滞情報等を提供

■令和5年度の整備状況及び効果



上記3路線に光ビーコン等を整備した効果により通過時間を最大で約37%短縮
(●~4交差点、★~4地点、★~6地点)

■令和6年度の整備状況



上記対策エリア等に光ビーコン等の整備を完了し、今後、効果検証を実施予定。
(●~8交差点、★~7地点、★~37地点)

[凡例] ●~信号機の集中制御化、★~光ビーコン、★~車両感知器

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

- 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施 ~
《今後の取組み》

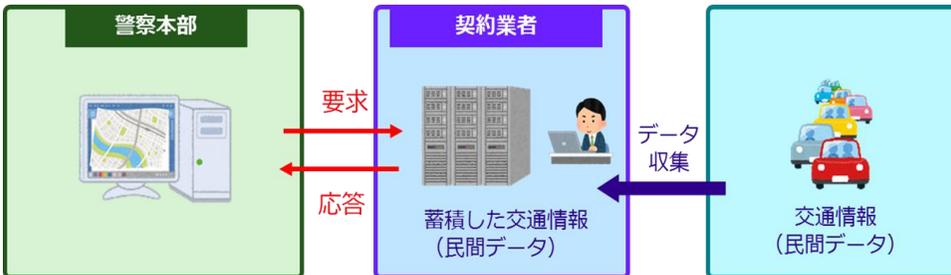
■ 令和7年度対策エリアの整備



令和7年度対策エリア内に光ビーコン等の整備を実施

■ 交通渋滞対策支援システム(仮称)の導入

- ・民間データにより交通の状況が把握可能なシステムを導入予定



■ 信号制御の最適化の実施

主要渋滞箇所が多い路線(交差点)で実施

- 国道3号
近見～清水本町
- 通称白山通り
世安～白山
- 国道325号等
本田技研入口～空港大橋北

◆ 国道3号・通称白山通り



◆ 国道325号等



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

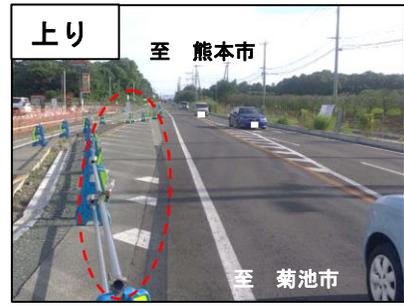
➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~バスベイの整備による交通の円滑化~【10箇所】

○現在、①・②の2箇所を整備中であり、年内に完了予定。残る8箇所についても設計中。

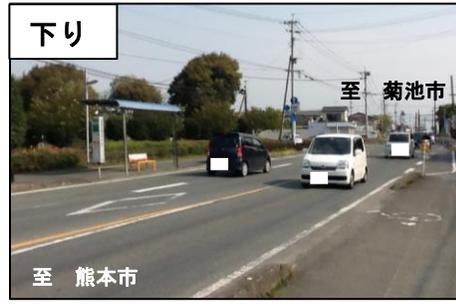
| No | 市町 | 路線名 | 取組箇所 | 取組状況 | 備考 |
|----|-----|----------|----------------|------|--------|
| ① | 合志市 | (国)387号 | 再春医療センター前(上り) | 工事中 | R7完了予定 |
| ② | 合志市 | (国)387号 | 再春医療センター前(下り) | 工事中 | R7完了予定 |
| ③ | 合志市 | (主)熊本大津線 | 合志南小前(下り) | 設計中 | R8発注予定 |
| ④ | 菊陽町 | (一)辛川鹿本線 | 新成(上り) | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑤ | 菊陽町 | (一)辛川鹿本線 | 竹迫踏切(上り) | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑥ | 菊陽町 | (一)熊本菊陽線 | 頼山陽記念館前(上り) | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑦ | 菊陽町 | (一)熊本菊陽線 | 自動車学校阿蘇製菓前(上り) | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑧ | 菊陽町 | (一)熊本菊陽線 | 自動車学校阿蘇製菓前(下り) | 設計中 | R8発注予定 |
| ⑨ | 菊陽町 | (一)熊本菊陽線 | 南方(上り) | 設計中 | R7発注予定 |
| ⑩ | 菊陽町 | (一)熊本菊陽線 | 入道入口(上り) | 設計中 | R7発注予定 |



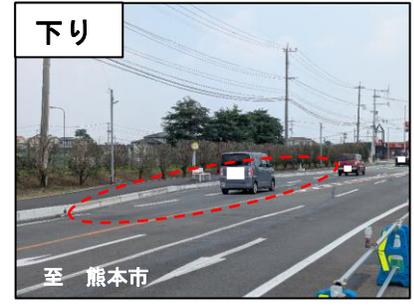
施工前



施工中



施工前



施工中

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~バスベイの整備による交通の円滑化~

◆バスベイ整備① 国道387号「再春医療センター前(上り)」

【整備効果】 整備後は後続車両の流れが良くなり、混雑が緩和されている。

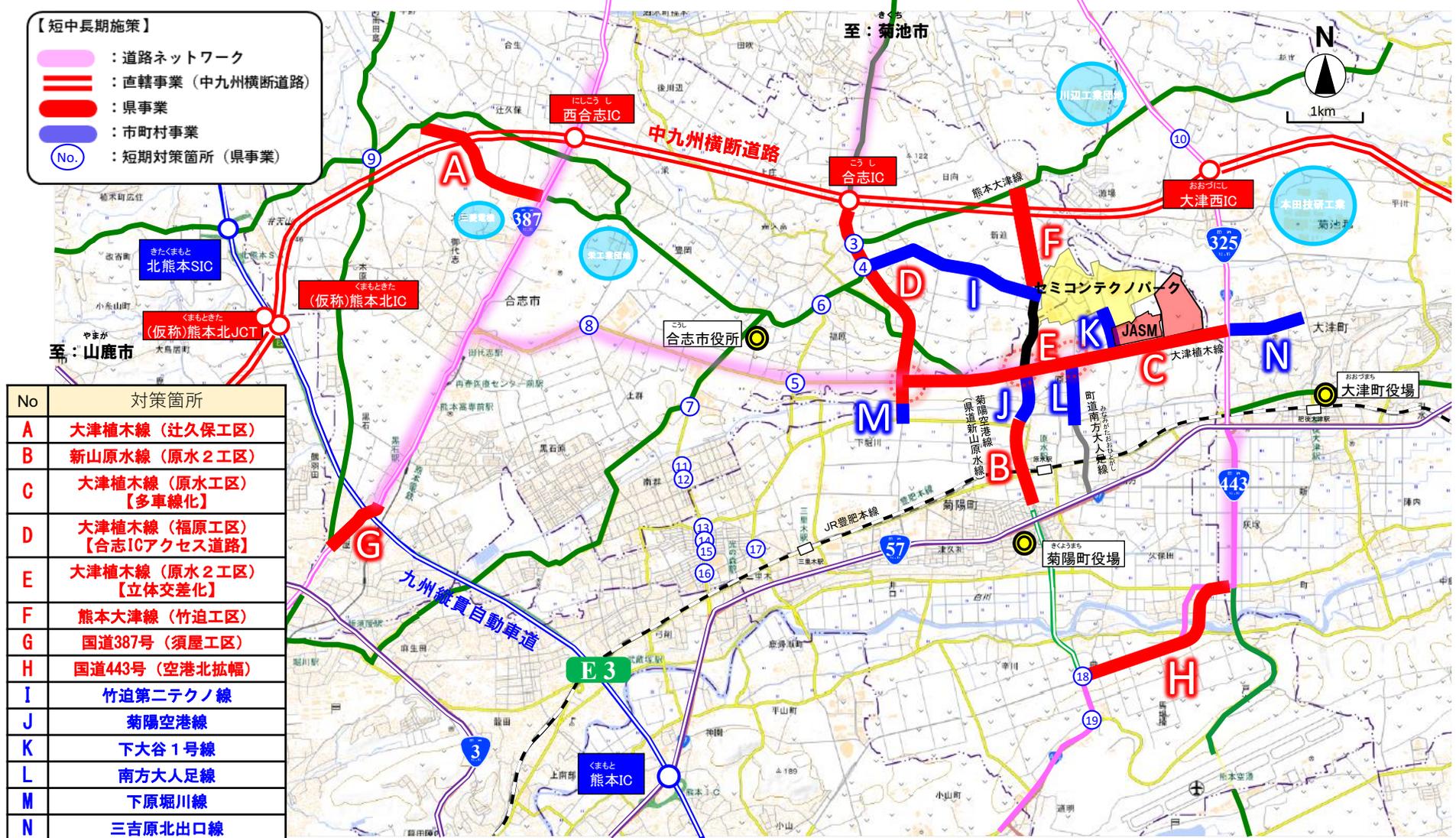


(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短・中期) ~道路ネットワーク整備の着実な推進~

〈箇所図〉 道路施策(短・中期) セミコンテクノパーク周辺道路整備

- 【短中長期施策】
-  : 道路ネットワーク
 -  : 直轄事業(中九州横断道路)
 -  : 県事業
 -  : 市町村事業
 -  : 短期対策箇所(県事業)



| No | 対策箇所 |
|----|-----------------------------|
| A | 大津植木線(辻久保工区) |
| B | 新山原水線(原水2工区) |
| C | 大津植木線(原水工区) 【多車線化】 |
| D | 大津植木線(福原工区) 【合志ICアクセス道路】 |
| E | 大津植木線(原水2工区) 【立体交差化】 |
| F | 熊本大津線(竹迫工区) |
| G | 国道387号(須屋工区) |
| H | 国道443号(空港北拡幅) |
| I | 竹迫第二テクノ線 |
| J | 菊陽空港線 |
| K | 下大谷1号線 |
| L | 南方大人足線 |
| M | 下原堀川線 |
| N | 三吉原北出口線 |

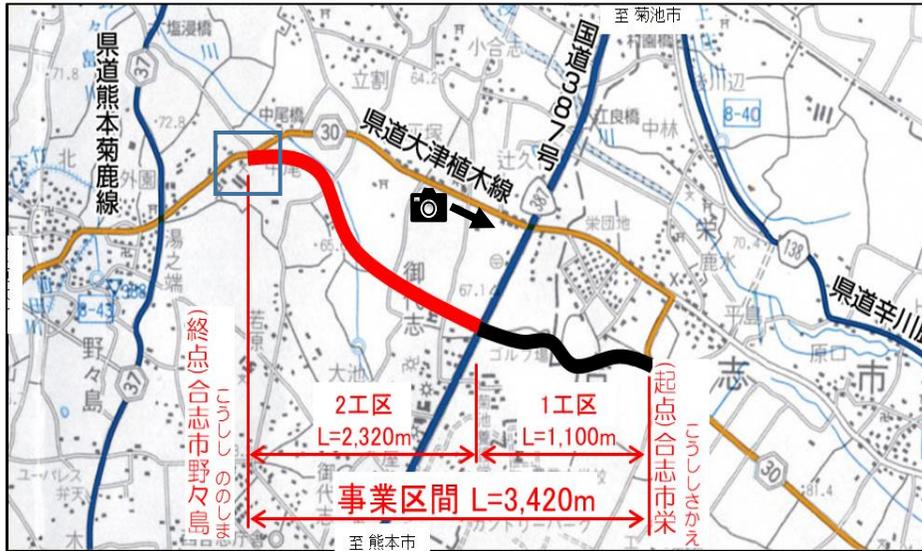
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

◆道路ネットワーク整備A 「大津植木線(辻久保工区)」

【事業内容】現道部の交通を分散させ、渋滞の解消及び安全性の向上を図るため、バイパス整備を推進し、令和7年度開通予定。

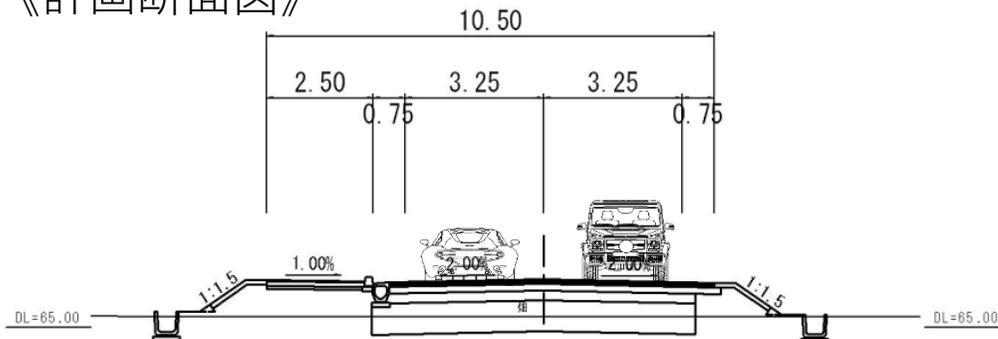
《位置図》



《渋滞状況》



《計画断面図》



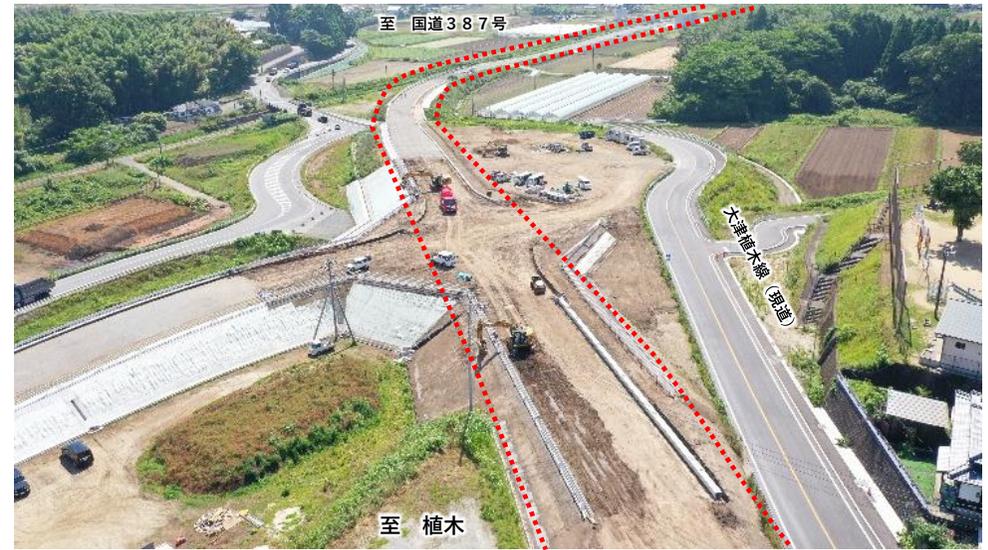
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

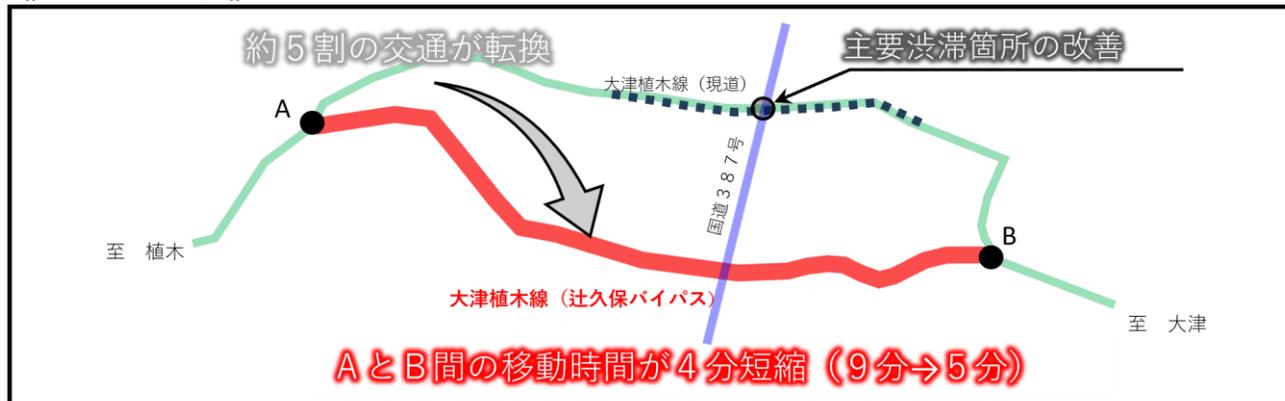
◆道路ネットワーク整備A 「大津植木線(辻久保工区)」

【整備効果】現道交通の約5割が転換し、移動時間が約4分短縮されると予測。

《工事進捗状況》(令和7年5月末時点)



《整備効果》



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

◆道路ネットワーク整備B 「菊陽空港線(新山原水線)」

【事業内容】・熊本菊陽線とJR豊肥本線を高架で跨ぎ、セミコンテクノパーク周辺と国道57号をつなぐ新たな縦軸となるバイパスを整備し、**町道南方大人足線等の交通を分散**。
 ・令和6年度までに用地取得完了。令和7年度は道路改良及び橋梁上部工を実施し、**令和8年度開通予定**。

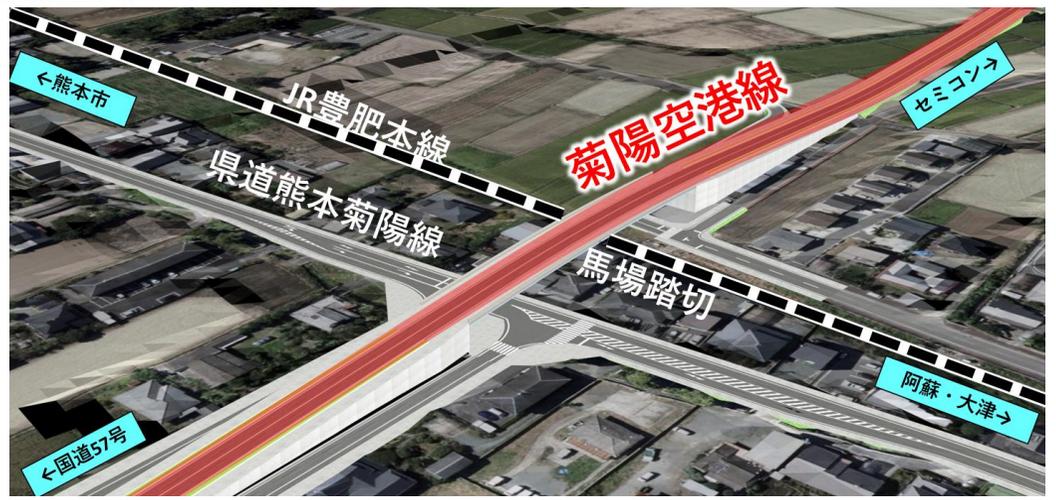
《位置図》



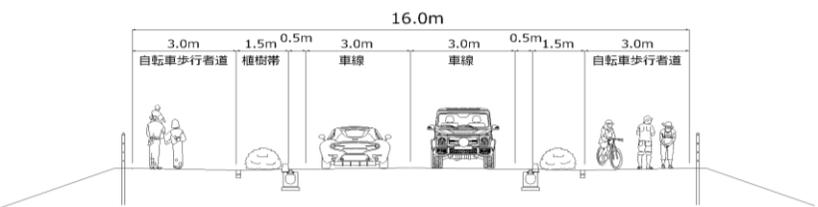
《渋滞状況》



《完成イメージ》



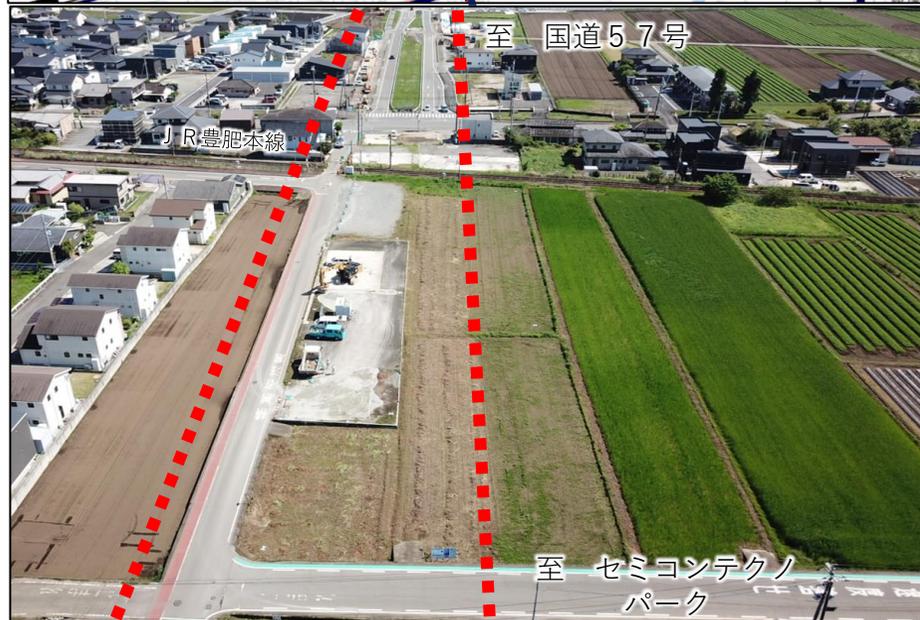
《計画断面図》



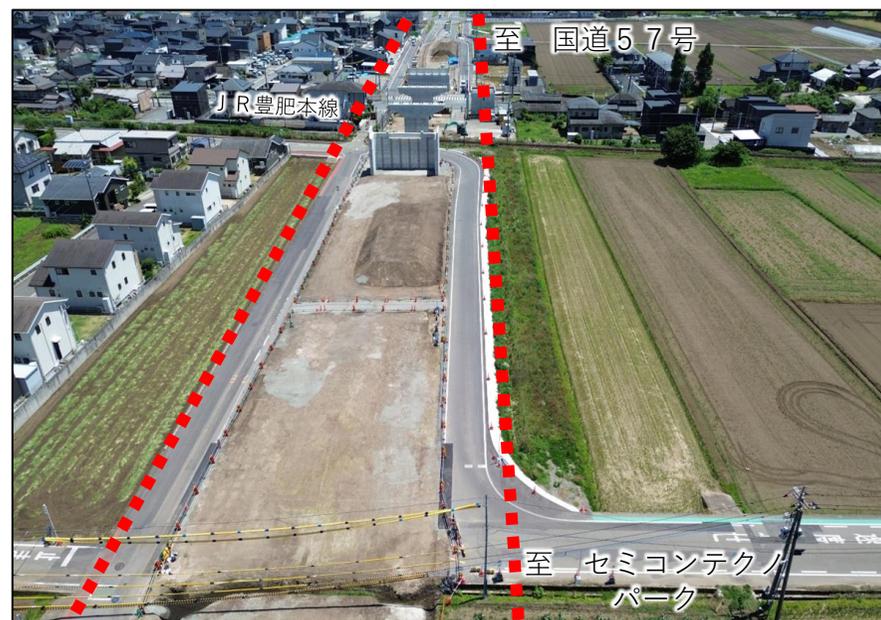
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~道路ネットワーク整備の着実な推進~

《整備前》



《整備状況》 (令和7年6月末時点)



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~道路ネットワーク整備の着実な推進~

◆B 菊陽空港線(新山原水線)の想定される整備効果(令和8年度供用後)

○No.1 (大津植木線と南方大人足線) 交差点で、**最大滞留長が約800mから約200mに減少**

○No.2 (国道57号と菊陽空港線) 交差点で、**最大滞留長が約700mから約100mに減少**



シミュレーション解析結果から (平日7:30~8:00時頃)

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(中期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

◆道路ネットワーク整備C・D 「大津植木線多車線化」・「合志ICアクセス道路」

【事業内容】・JASM前を通る大津植木線及び中九州横断道路とを繋ぐ合志ICアクセス道路は令和10年度完成を目標に令和7年内に着工予定。
 ・大津植木線と交差する菊陽空港線,町道南方大人足線,合志ICアクセス道路との交差点では、立体化を計画。

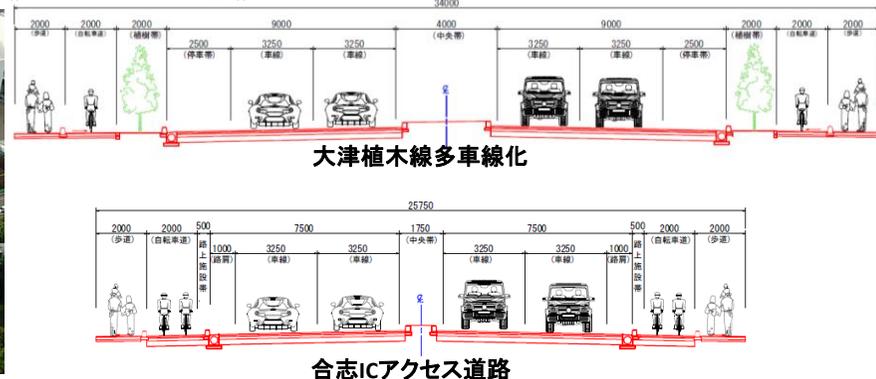
《位置図》



《渋滞状況》



《計画断面図》



《完成イメージ》



大津植木線多車線化イメージ



合志ICアクセス道路イメージ



立体交差イメージ

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(中・長期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

◆道路ネットワーク整備 「中九州横断道路」

【事業内容】・国において整備が進められている高規格道路であり、本路線の整備により、新たな交通ネットワークが形成され、セミコン周辺エリアの渋滞緩和効果等に期待。

- ・大津熊本道路(大津西～合志)では、年度内に工事着手予定。
- ・大津西ICから下碓川IC間の早期整備に向け、有料道路事業の導入にかかる都市計画の手続きに着手。

《位置図》



| 箇所名 | 延長 | R7事業内容 | 進捗率 (R7.3.31時点) |
|--------------------|--------|--------------------------------|--------------------------|
| I 熊本環状連絡道路 | 3.9 Km | 調査推進 | 用地進捗率:約0% 事業進捗率:約0% |
| II 大津熊本道路(合志～熊本) | 9.1 Km | 調査推進 用地買収推進 用地補償 工事推進 | 用地進捗率:約78% 事業進捗率:約27% |
| III 大津熊本道路(大津西～合志) | 4.7 Km | 調査推進 用地買収推進 工事着手 | 用地進捗率:約1% 事業進捗率:約3% |
| IV 大津道路 | 4.8 km | 調査推進 | 用地進捗率:約0% 事業進捗率:約1% |

※令和7年度当初予算に関する事業計画通知より



熊本環状連絡道路 新規事業化～くす玉開破～



写真① 西合志IC建設予定地(R7.5月現在)



写真② 大津熊本道路施工状況(R7.5月現在) 22

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の利便性向上及び利用促進～

現在の進捗

◆利用促進に対する取組み支援 (R5年度～R7年度: 菊池南部地域公共交通利用促進事業)

- ・セミコンテクノパーク周辺の交通渋滞緩和のため、事業者等が独自に実施する公共交通の利用促進に資する事業に対し、支援を実施。

R6年度

- JR豊肥本線等のPRイベント【JR九州熊本支社】
 - JR豊肥本線の利用促進と併せ、熊本都市圏の渋滞解消に寄与することをアピール
- 路線バス車内Wi-Fiの周知広報【電鉄バス】
 - 菊池南部地域での慢性的な交通渋滞対策のため、バスの利便性を高め、自動車からの転換を促進
- セミコン通勤バス(御代志駅～セミコンテクノパーク)運行実証の周知広報【合志市】
 - 御代志駅～セミコンテクノパーク間の実証バスの認知度向上及び多くの利用者からの意見を収集



R7年度

- セミコン通勤バス昼便の運行実証【セミコン交通対策協議会】
 - セミコン通勤バスの利便性向上の一環として、現在運行していない昼間の時間帯について実証運行を行い、ニーズを把握
 - 半日勤務や急病等による早退の場合等を考慮した便の運行で、公共交通による通勤者数の増加に繋げる

**セミコン通勤バス
昼便実証運行**

期間: 令和7年5月12日(月)～8月8日(金)

利便性向上のため、昼間の時間帯の実証運行を行います
普段セミコン通勤バスを利用しない方もぜひご利用ください

運行区間: JR原水駅～セミコンテクノパーク間
(金/バス停に停車します)

運賃: 均一運賃 片道180円(定期券利用可)
現金の他、くまモンのICカード、クレジットカード等のタッチ決済に対応しています

運行本数: 1日6便(平日の10時から15時台)
ダイヤの詳細はコチラ→

【アンケートご協力をお願いします!】
利用者のニーズ等を把握し、昼便の本格運行を検討するため、実証運行開始から一定期間経過後にWebアンケートを行います。
回答フォームについては後日改めてお知らせします。

実行主体: セミコン交通対策協議会
事務局: 筑後町役場工務課 TEL:096-232-2165
実行会社: 熊本県協栄 TEL:096-343-3023

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の利便性向上及び利用促進～

〈現在の進捗〉

菊池南部地域の渋滞緩和に向けたソフト対策として、公共交通の利用促進に向けた取組みを実施中。**1日あたり、約790台分の通勤自動車削減に寄与していることが推計される**(1人1台換算で、R7年5月における1日当たりの利用者を元に算定)。

① セミコン通勤バス 運行

【実施主体】 セミコン交通対策協議会事務局
＜菊陽町、合志市、県北広域本部、セミコンテクノパーク協議会＞

【運行区間】 JR原水駅～セミコンテクノパーク

【平日便数】 朝27便(うち9便JASM経由) / 夕21便(うち8便JASM経由)

【運賃】 一律180円

【利用実績】

- ・利用者は増加傾向であり、R6年度の年間利用者数が34万人を超過。
- ・R7年5月(平日)においては、28,454人が利用(1,423人/日)



② 大津町通勤バス 実証運行(R6.10～おおよそ3年間継続予定)

【実施主体】 大津町渋滞対策プロジェクトチーム
＜本田技研工業、構造計画研究所、産交バス、大津町、県北広域本部＞

【運行区間】 JR肥後大津駅～本田技研工業

【平日便数】 朝8便 / 夕方12便

【運賃】 180円～250円

【利用実績】

- ・利用者は増加傾向であり、開始8か月で17,209人が利用。
- ・R7年5月においては、2,995人が利用(157人/日)



〈今後の取組み〉

➤ セミコン通勤バスについては、バス利用者の利便性向上やさらなる利用者増加に向けた取組みとして**昼便実証運行を実施中**。

【運行区間】 JR原水駅～セミコンテクノパーク、【平日便数】 6便(10時台～15時台)、【運賃】 一律180円

➤ これまでの通勤バスの運行・実証運行の実施結果より、「**長期間実施**」によって取組みの認知度が上がり、利用者も増加していくことが認められる。利用者の更なる増加を目指し、**関係機関とともに、今後も継続的な運行に向けて取り組んでいく**。

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“時間”“場所”の分散～

【セミコン交通対策協議会・企画会議の実施】

・新たな工場建設等が進んでいることを踏まえ、円滑な情報共有と、より実効性のある渋滞対策の実施に向けて、令和6年8月から月1回会議を開催。

【構成団体】

- 企業等： ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(SCK)、東京エレクトロン九州(TKL)、JASM、本田技研工業熊本製作所、工事業者
- 関係行政機関： 熊本県、熊本県警、菊陽町、合志市、大津町



【企業による主な取組み状況】

①セミコン3社(SCK,TKL,JASM) 時差出勤等の取組み状況

6705台

2640台

約4割

■朝の通勤車総数 ■ピーク時間(7:30~8:30)の通勤車数

・時差出勤等によりピーク時間(7:30~8:30)の通勤車が約4割となる

※2024年9月時点

②工事車両の運行時間調整、工事関係者バス乗り合わせ



- ・可能な限り通勤時間帯を避けた形で工事車両を運行
- ・バスで乗り合わせて現場へ

③JASM通勤車削減に関する取組み状況

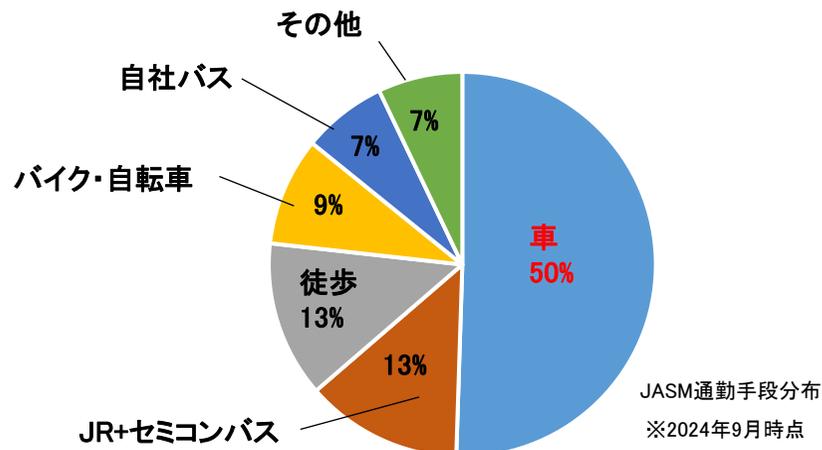
約2400人

約1200台

約5割

■JASM従業員数(概算) ■JASM通勤車数(概算)

・自社バス運行や公共交通の利用促進により通勤車が約5割となる



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の輸送力強化と基盤整備～

〈現在の進捗〉

○ 豊肥本線輸送力強化

〈要望活動の実施〉

令和5年度・令和6年度に、県からJR九州に対して豊肥本線輸送力強化に関する要望を実施

・要望事項

- ① 車両の増結、運行本数の増加
- ② 駅施設の改良・整備による安全性・利便性向上
- ③ 同時進入化、行違い化等による速達性向上
- ④ 複線化の具体的検討

〈要望活動による成果〉

令和6年・令和7年のJR九州のダイヤ改正にて、車両の増結等が実現

・令和6年春ダイヤ改正 (R6.3.16改正)

朝ピーク: 上下計6本で1両ずつ増結

定員数(前年比):【下り】**3,080人(16%増)**【上り】**4,140人(11%増)**

夕ピーク: 上下計4本で2両ずつ増結

定員数(前年比):【下り】**4,200人(15%増)**【上り】**4,620人(14%増)**

※朝夕の列車本数は変更なし

・令和7年春ダイヤ改正 (R7.3.15改正)

朝ピーク: 上下計3本で1～2両増結

定員数(前年比):【下り】**3,220人(5%増)**【上り】**4,140人(±0%)**

※列車本数は変更なし

光の森駅発着の列車1本を肥後大津駅発着に変更

〈今後の取組み〉

〈協議会設立〉

県・熊本市・大津町・菊陽町による「JR豊肥本線輸送力強化促進協議会」を設立

第1回協議会: 令和7年7月18日(金)開催予定

内容: JR豊肥本線の現状や課題等について各首長が情報共有及び意見交換

〈豊肥本線の将来像検討〉

沿線地域の課題整理を行い、将来の豊肥本線を取り巻く二次交通やまちづくり等のあり方を踏まえ、輸送力強化の方向性について検討する。

〈JR九州との協議〉

協議会での協議内容を踏まえたJR九州への要望実施など、輸送力強化の実施に向けJR九州との協議を進める。



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(セミコン周辺エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短・中期) ～公共交通の輸送力強化と基盤整備～

空港アクセス鉄道整備〈現在の進捗〉

- 鉄道事業化に向けた鉄道概略設計調査
- 測量・ボーリング調査
- 環境アセスメントに関する配慮書・方法書
- 整備ルート of 絞り込みを公表



○ルートの絞り込み



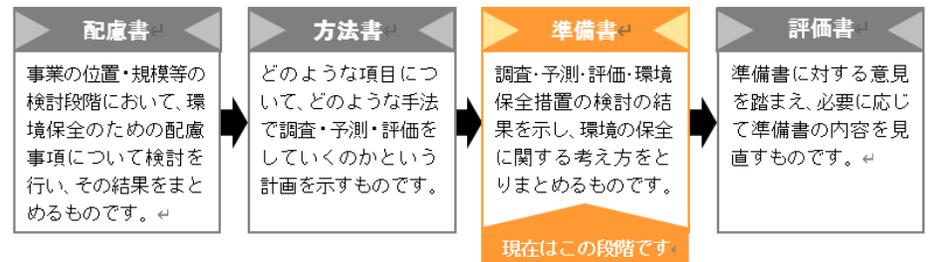
〈今後の取組み〉

- 鉄道事業化に向けた鉄道概略設計調査(継続)
- 測量調査の検討
- 環境アセスメントに関する準備書作成及び都市計画決定手続き等の実施
- 鉄道事業許可、工事施行認可等に向けた関係機関との協議・調整



○環境アセスメント

● 環境影響評価に関する図書 ●



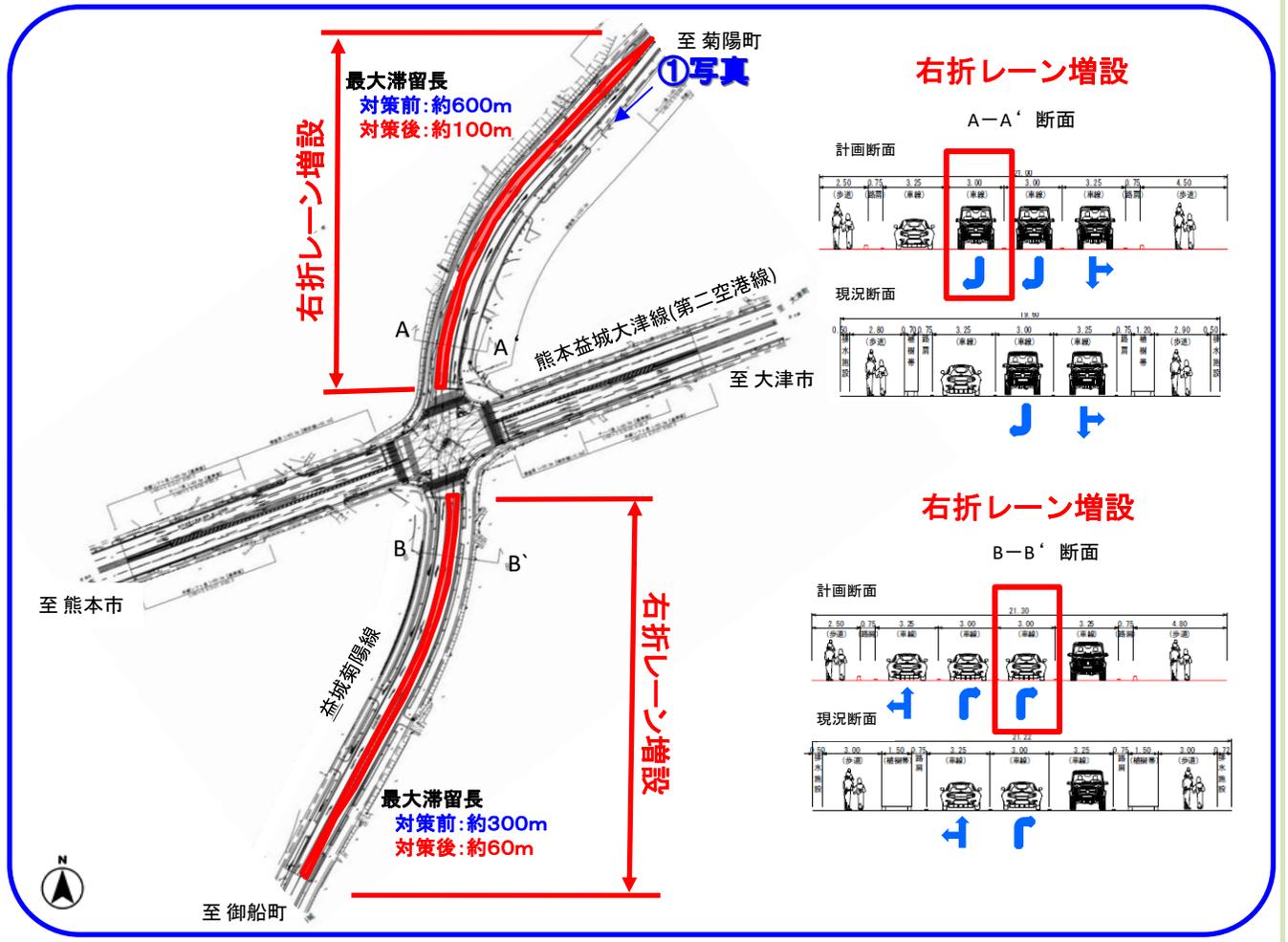
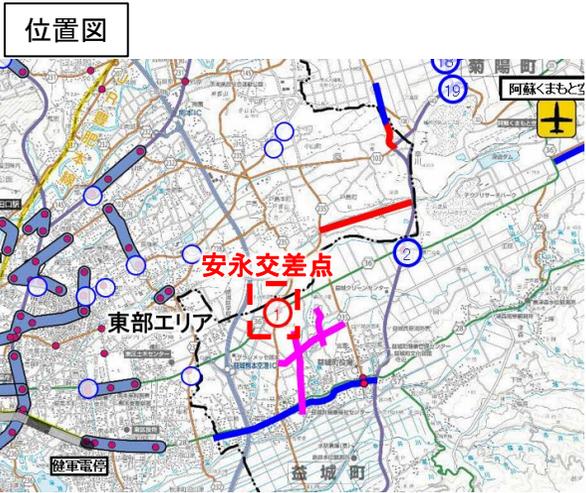
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(都市圏東部エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

◆交差点改良① 熊本益城大津線(第二空港線)「安永交差点」

【事業内容】・従道路(益城菊陽線)で渋滞が発生しているため、右折レーンを増設する計画(1→2車線)
 ・年内に工事発注予定

【整備効果】・最大滞留長が北方向で約500m(600m→100m)、南方向で約240m(300m→60m)減少すると予測。



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(都市圏東部エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~道路ネットワーク整備の着実な推進~

熊本高森線((都)益城中央線)4車線化

渋滞の発生

至 大津町

渋滞の改善
(4車線化 供用済区間)

整備延長 L=約3.8 km

| 区間 | 整備延長 (L) | 供用予定 |
|----------------|----------|------------|
| 起点 熊本市桜木 ~ 区間1 | 約0.8 km | R5年3月 供用 |
| 区間1 ~ 区間2 | 約0.8 km | R6年4月 供用 |
| 区間2 ~ 終点 益城町寺迫 | 約2.2 km | R7年度末 供用予定 |

土地区画整理事業区間

令和7年度 供用開始予定
(惣領~寺迫)

至 熊本市

令和5年度 供用開始済
(桜木~惣領)

現在の進捗

バス停の整備
公共交通の利用推進

駐輪場の整備
サイクル&ライド推進

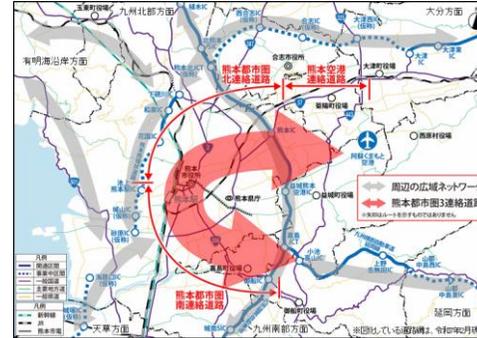
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(長期) ～広域道路ネットワークの構築～

◆熊本都市圏3連絡道路(10分・20分構想)

<現在の進捗>

- 計画具体化に向け、「住民参加型の道路計画検討」を進行中。
- 令和7年3月25日に第2回有識者委員会を開催し、政策目標(案)や意見聴取方法について議論。
- 政策目標(案)の妥当性を確認するため、地域と道路の現状と課題について、令和7年5月20日から8月31日まで第1回意見聴取を実施中。



熊本都市圏3連絡道路イメージ



意見聴取(※オープンハウス形式)実施状況

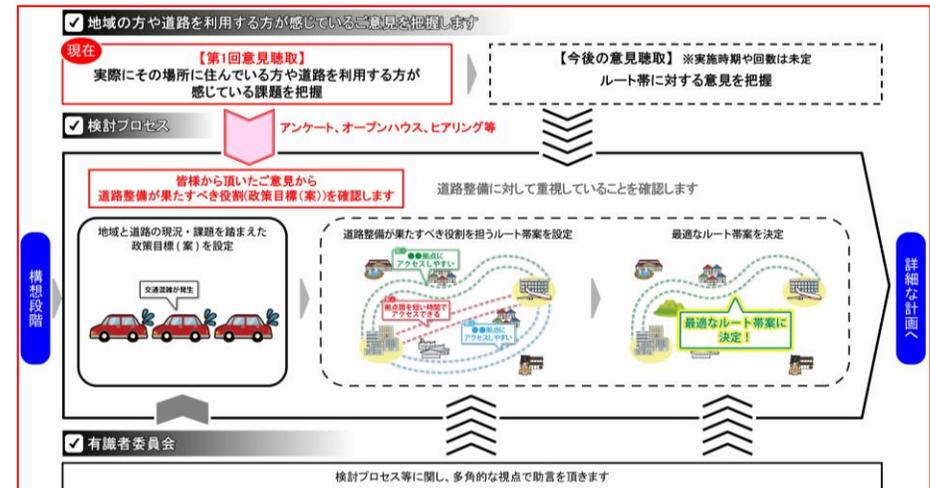
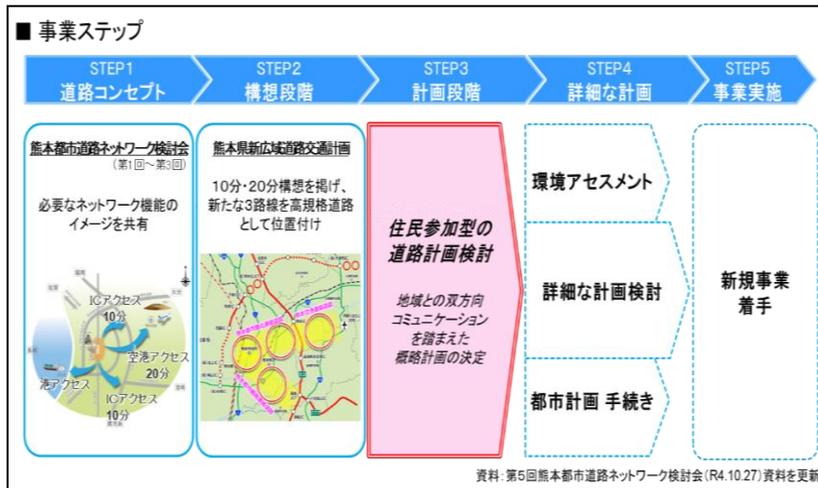
※その他、郵送・留置き・Webアンケート等を実施中



<今後の取組み>

- 第1回意見聴取を踏まえ、政策目標(案)の妥当性を確認し、複数のルート帯案を提示予定。
- 第2回意見聴取を実施し、最適なルート帯案を決定予定。

STEP3 計画段階詳細



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ~公共交通の利便性向上及び利用促進~



運転士不足への対応

(R6年度~R7年度:路線バス運転士不足対策事業)

路線バスの運転士不足に対応するため、路線バス事業者が実施する人材確保の取組み等を支援。

R6年度実績

①大型自動車第二種免許取得に要する経費

- 14名(5社合計)に対して免許取得に要する費用の一部を支援

②人材確保の広報活動に要する経費

- 5社合同就職説明会、就職イベントへの出展
- TVCM等のPR動画作成、求人情報誌、サイトへの求人情報掲載等



R7年度予定

引き続き、県内路線バス事業者が実施する以下の人材確保の取組みを支援。

- ①大型自動車第二種免許取得に要する経費
- ②採用、広報活動



シェアサイクルの利用促進

Charichari

(チャリチャリ株式会社との連携)

シェアサイクルを運営するチャリチャリ株式会社と包括連携協定を締結(R5年3月)し、利用エリアの拡大等によりマイカーからの転換を促進。

熊本市内の年間利用者数推移



エリア拡大の状況



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短・中期) ～公共交通の輸送力強化と基盤整備～

〈現在の進捗〉

◆熊本県地域公共交通計画(現行)(5年間: R3年度～R7年度)

- ・「①持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」、「②輸送資源の総動員によるコミュニティ交通の充実」を計画の目標とし、地域公共交通の確保・維持に係る取組みを実施。

【現行計画の達成状況】

- ・ R5年度の公共交通の利用者数: 今年度末の目標値まであと225万人の上積みが必要。
- ・ R6年度の公共交通に対する県民満足度: 路線の廃止や減便等により前年比5.1ポイント減少。



今後の取組み

※R7年8月までに計画骨子案、10月までに計画素案、R8年1月までに計画最終案を取りまとめ予定

◆次期熊本県地域公共交通計画の策定(5年間: R8年度～R12年度)

- ・「多様化する県民の移動ニーズを満たす、**新たな公共交通体系の構築**」を計画の基本方針とする。
- ・策定にあたっての論点は以下のとおり。

①公共交通に対する安定的かつ戦略的な投資の実現

- ・各交通モードの位置づけを再定義、必要なサービス水準実現のための資源や手法等について議論
- ・行政の公的投資方針を明確化、恒久的な財源確保の方策を検討

②持続可能な交通サービスの運営主体・運営方法のあり方

- ・鉄道の存続・活性化、バスの最適な運営について議論
- ・共同経営の枠組みをベースに、他の交通モードへ対象拡大を検討

③公共交通の利便性向上に向けた取組み

- ・公共交通の利用促進施策について議論
- ・モビリティサービスの充実に係る施策の検討

次期熊本都市圏都市交通マスタープランとの整合性を図りながら策定を進める

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“時間”の分散～



時差出勤等の推進

(R6年度～)

現状・課題

- 熊本都市圏における交通は、朝ピーク時間帯(7時～9時)に集中。⇒ 朝ピーク時間帯の交通量の分散で、渋滞の緩和へ。

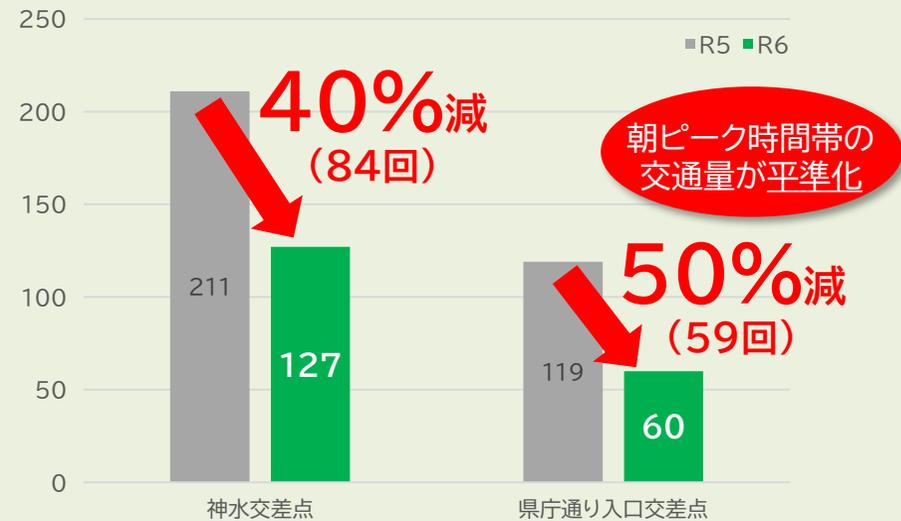
R6の取組みの概要と効果

- 令和6年9月2日～30日の期間で、熊本県及び熊本市の合同で時差出勤の取組み(7:30～8:30を避けて通勤)を実施。
- 1日平均4,086人が実施。

県庁付近交差点の車両通過台数の変化



7:30～8:30に2km以上の渋滞が発生した回数の比較



時差出勤が渋滞緩和に効果があることが確認されたため、民間企業等にも取組みを拡大し効果の最大化に向け
時差出勤の県民運動化へ

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ~集中する“時間”の分散~

熊本県渋滞対策パートナー登録制度 (R7年5月~)

概要

- 官民が一体となった交通渋滞解消に向けた取組みの県民運動化に向け、令和7年5月8日に「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」を創設。
- 創設に際して、知事、大西熊本市長、笠原熊本経済同友会代表幹事の3者で記者発表を行い、広く取組みを周知。
- 交通渋滞の解消を目的とした取組みを行う民間企業等に「渋滞対策パートナー」として登録いただくことで、取組みの拡大を図り、渋滞の解消を目指すもの。



<3者記者発表の様子>



対象の取組み

①交通量の分散に向けた取組み

- 時差出勤 等 ※交通量の分散は主に朝ピーク時間帯(7:30~8:30)を想定

②交通量の抑制に向けた取組み

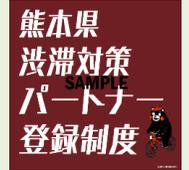
- テレワークの推進、公共交通機関の利用促進、独自の通勤バス運行 等

③公共交通サービスの提供の取組み

- 鉄道、バス、シェアサイクルなどの公共交通サービス提供 等

取組みのメリット

- ✓ 制度の名称・シンボルマークの利用
- ✓ 県によるパートナーの周知・広報
- ✓ 地域課題の解決に向けた社会貢献



80社の民間企業等が申請
(R7年7月10日時点)

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“時間”の分散～

熊本県渋滞対策パートナー登録制度 (R7年5月～)



登録パートナーの取組み事例

株式会社肥後銀行

時差出勤制度及びテレワーク制度の推進

⇒熊本都市圏で働く従業員の朝ピーク時間の通勤者を30%削減することを目標に令和6年度から実施

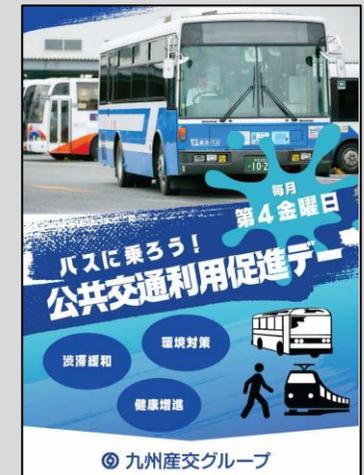


<肥後銀行ニュースリリース>

九州産業交通ホールディングス株式会社

「公共交通利用促進デー」の設定による公共交通の利用促進

- ⇒毎月第4金曜日、従業員の通勤及び移動について公共交通の利用を促進
- ⇒従業員の実費精算が発生した場合は、実費相当額を通勤手当として支給



<九州産交グループ社内チラシ>

登録パートナー各社で、特色ある様々な渋滞対策に資する取組みが展開

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ~集中する“時間”の分散~

今後の取組み



時差出勤等のさらなる推進

1 官民連携での取組みの実施

➤ 9月1日(月)~9月30日(火)の期間において、熊本県職員及び熊本市職員に加え、熊本県渋滞対策パートナー登録制度の登録企業等に勤務する者(※)で、朝のピーク時(7:30~8:30)を避けた時間帯に通勤・テレワークによる移動の低減を実施。

※時差出勤及び在宅勤務等を取組み内容に掲げる企業等に限る。

➤ 令和7年度募集期間である、8月29日(金)までに、**200社**の登録を目指す。

目標 官民連携で1万人/日が時差出勤またはテレワーク対応

2 取組みの効果検証

(R7年度:時差出勤先進県くまもと推進事業)

➤ 9月に、主に登録パートナー企業等、官民連携で集中的に時差出勤の取組みを行い、**効果測定**を実施。

⇒ データを用いた効果測定により、取組み結果の見える化を図る。



1万人の オフピーク通勤!!

みんなで取り組む“渋滞解消”

渋滞知らずで快適通勤!
柔軟な働き方で仕事も暮らしも充実!

2市4町(熊本市、合志市、
菊池郡大津町、菊陽町、
上益城郡嘉島町、益城町)
の主要渋滞箇所から
複数地点を抽出の上、
効果を測定

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み(熊本都市圏全エリア)

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ~集中する“時間”の分散~

今後の取組み



時差出勤等のさらなる推進

3 効果検証結果の見える化

➤ 効果検証により導出した、令和6年9月と令和7年9月の交通状況の変化に関するデータを「くまもとデータ連携基盤」に接続し、地図ダッシュボード機能を用いて地図上に可視化することを検討。

※企画振興部内政策企画事業費の活用を検討。

